

公益社団法人

# 隊友船橋だより

平成31年3月号 発行：千葉県隊友会 船橋支部事務局

## 大穴の「嗚呼海軍七勇士殉難之の碑」 の供養（草刈り）

5月2日（木）0930～1130

作業のできる服装で現地集合。詳細は門脇副支部長にお問合せしてください。  
お問い合わせ電話番号090-8503-7912（事務局）

## 「参議院議員ヒゲの隊長 佐藤まさひさ外務副大臣講演会」

5月25日（土）18時から船橋市勤労市民センター講堂

御家族、ご近所の方お誘いあわせてお出かけください。（事務局）

## 「令和元年度船橋支部定期総会 6月23日（日）習志野駐屯地で開催」

10時から12時まで定期総会 習志野駐屯地隊員クラブ（華の舞）

12時から14時まで 懇親会 同上（懇親会費3,500円受付にて集金）

会員の皆様には御参加されますようご案内申し上げます。

同封のハガキに必要事項を記入して62円切手を貼って6月10日必着するよ  
うに投函してください。（事務局）

# 「北方領土返還要求アピール行進に参加して」

平成30年12月1日(土)に北方領土返還要求運動連絡協議会(事務局長 児玉泰子)主催の「北方領土返還要求アピール行進」が都内で実施されました。岡本事務局長から参加希望の調査が有り、私の所属する二和・咲が丘分会から、副分会長の長内力会員(60歳)が参加しました。

長内会員の所見です。

私は青森県弘前市の農家に生まれました。毎年両親は北海道の羅臼町、知床、釧路、稚内に、夏は米を、冬はリンゴを売りに行き、代金の代わりに海産物を受領し、弘前に戻り、山間部の人々に販売し、家計の足しにしておりました。そこで小学校6年から中学2年生までの3年間、夏と冬各3回両親の行商に同行し、羅臼町や知床で暮らす、元北方領土で暮らしておられた多くの人々に接する事が出来ました。羅臼町や知床からは国後島で警備中のソ連兵が肉眼でハッキリ見えます。47年前の北海道での行商旅行の当時を思い出し、眼前に浮かぶ元北方領土島民の皆様の顔を思い出し、他人ごとではない、少しでも元島民のお役に立ちたいと思い、北方領土返還要求アピール行進に参加しました。

昭和史を回想しますと、日本がポツダム宣言を受諾し、戦闘行為を中止し、武装解除したのが1945年8月15日でした。この8月15日以降連合軍も日本への攻撃を一斉に中止しました。ところがそれから3日後の8月18日スターリン率いるソ連軍が日ソ中立条約の有効期間中に突如日本領の千島列島の攻撃を開始しました。この戦闘行為は日本が米国軍艦ミズリー号で降伏文書に署名した9月2日の3日後、つまり9月5日まで22日間続北方領土4島すべてが不法占拠されました。

日ソ中立条約…1941年4月13日に松岡外相とスターリン首相の間で調印され、有効期間は5年間つまり1946年4月13日まで有効でした。

ソ連が終戦後に日本を攻めてきた背景にはヤルタ会談がありました。

ヤルタ会談…1945年2月4日から11日までの8日間、米国、英国、ソ連3か国の首脳会談が行われソ連の対日参戦が協議されました。

ヤルタ協定…1945年2月8日に米国ルーズベルト大統領とソ連スターリン首相との秘密会談でドイツ降伏から2~3ヶ月後に日ソ中立条約を一方的に破棄し、ソ連に対日参戦を強く促しました。米国が千島列島と樺太をソ連が領有する事を、密かに認めた協定でした。スターリンは対日参戦により、樺太南部と千島

列島を日本から奪回できるならと、ドイツが降伏した 1945 年 5 月から 3 ヶ月後の 1945 年 8 月に対日参戦に踏み切りました。

1945 年 9 月から既に 73 年が経過し、北方領土には多数のロシア人が居住し、建造物も構築され、返還は困難な状況です。お互いに長期政権となっております。プーチン大統領と安倍首相の両政権の間に是非 4 島の帰属問題を解決して日ソ平和条約締結に漕ぎつけて欲しいものです。

(平成 31 年 3 月 31 日二和・咲が丘分会長 木村義忠)

## 「本の紹介」

### 「中国製造 2025 の衝撃」

習近平はいま何を目論んでいるのか 定価：本体 1,700 円（税別）

著者：遠藤 誉

発行所：株式会社 PHP エディターズ・グループ

発売元：株式会社 PHP

### 「日本共産党の正体」 定価：本体 800 円（税別）

著者：福富 健一

発行者：佐藤隆信

発行所：株式会社新潮社

### 「ある外交官の回想激動の昭和に生きて」

戦中・戦後の真実 定価 1,620 円（本体 1,500 円＋税）

著者：高橋利巳

発行：展転社

著者の略歴

高橋利巳（たかはし としみ）

昭和 4 年秋田県生まれ。明治大学法学部卒。

外務大臣官房文書課、陸上自衛隊幹部、

外務省移住局企画課、神戸移住センター、

外務省大阪連絡事務所、中南米移住局移住課、

在ボリビア、在ウルグアイ、在グアテマラ、在キューバ日本大使館勤務。

著書に「戦後海外移住の一考察」（領事移住部）

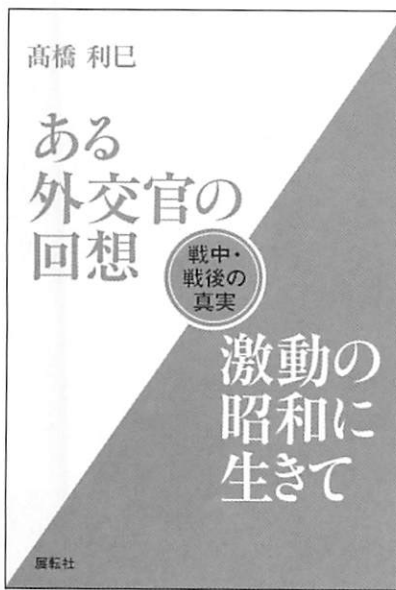
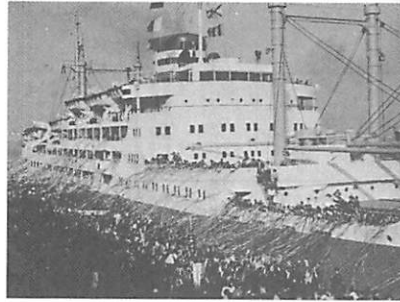
「カリブ海の夕日と革命の嵐」（霞が関会）など。 （事務局）

# ある外交官の回想 激動の昭和に生きて

## 戦中・戦後の真実

高橋利巳

私が子供の頃の日本は、韓国や台湾を統治し、五族共和の満洲国を建国、さらには中国大陸の大半を占領支配していた。その勢いで四百年余にわたり東アジアを植民地支配していた欧米列強を追い出し、東亜永遠の平和を願い、大東亜共栄圏建設のために戦った。アジアの国々は全て独立を果たしたが、日本は戦いに敗れ侵略国家として断罪され、歴史を考察



することもなく、ただ謝罪を繰り返していた。そのようななか、国民に夢と希望を与えたのが南米移住である。

### 【著者略歴】

高橋利巳(たかはし としみ)

昭和4年秋田県生まれ。明治大学法学部卒。

外務大臣官房文書課、陸上自衛隊幹部、外務省移住局企画課、神戸移住センター、外務省大阪連絡事務所、中南米移住局移住課、在ボリビア、在ウルグアイ、在グアテマラ、在キューバ日本大使館勤務。

著書に「戦後海外移住の一考察」(領事移住部)「カリブ海の夕陽と革命の嵐」(霞関会)など。

てんでんBOOKS最新刊◆四六並製◆256頁◆定価1,620(本体1,500円+税)

下記に必要事項をご記入の上、本社へお送り下さるか(Fax・メールbook@tendensha.co.jp可)、最寄の書店にご注文ください。

切り取り

ある外交官の回想 激動の昭和に生きて  
戦中・戦後の真実

ISBN978-4-88656-465-8 C0031

■申込冊数 ■お名前(ふりがな) ■電話

冊

~~定価1,620円~~  
(税込/送料200円)

### 《特典》

このチラシで直接弊社にお申込(FAX・郵便)の皆様に限りの特別価格です!

特別価格 **1,500円**  
(税込/送料サービス)

発行 **展転社**  
〒101-0051 千代田区神田神保町2-46-402  
TEL03-5314-9470(代) FAX03-5314-9480  
http://www.tendensha.co.jp

ご住所 〒